

よりよい生き方を求め 今と未来を主体的に生きる子ども  
 自分を高め 共に育つ子ども を育成する澁川小学校の創造

## 1年が終わり次へと続く子どもたちの日々



3月17日金曜日、肌寒いながらも春の気配も感じられる中、卒業式を行いました。これまでに十分な練習をし、学級での最後の時間も楽しんできた卒業生は、引き締まった誇らしげな表情で、目にはしっかりと前を見つめるような光が感じられました。呼びかけもしっかりと声を出し、合唱も美しい響きとハーモニーで、聞いている人の心に直球で入ってくるような、たいへん素晴らしいものでした。そして退場まで凛としていて、空間を共にする私たちも心が洗われるような気持ちになりました。4月から、それぞれの新しい場所で、確かな“今”を重ねていってくれるにちがいないと信じています。

また、卒業式の前日には、5年生が前日準備を頑張ってくれました。5年生も卒業生同様にたいへん素晴らしく、準備における自分の役割をしっかりと理解しているばかりか、人の足りない所やゴミがあるところ、まだ掃除ができていないところなどを見つけては率先して自分が動いていました。感心したのは、先生からの指示を待っているということがない、ということです。それぞれが、状況を見て、今何が必要か相談して判断して、実際に動いているのです。卒業式の式辞で、これからは“指示待ち族”“マニュアルの通りに動く人”でなく「自分で問題をみつけ」「自分で考えて動き」「自分で解決していける」人が求められる、という話をしましたが、5年生は、まさにそれを体現していました。ここまでするには、1年間、教科の授業の中だけでなく、生活の様々な場面のいたるところで鍛えられ、学びとってきたのだと思います。

さらに、1年生から4年生までの子どもたちも、「ありがとうでつなぐバトン活動」の各学年の発表で頑張り、晴ればれとした表情をしていたことは、前号に掲載したとおりです。

自分のしてきたことを誇れるということはたいへん意味のあることだと思います。1996年アトランタ五輪女子マラソンで銅メダリストとなった有森裕子さんの「はじめて自分で自分を褒めたいと思います。」という言葉はあまりにも有名です。この言葉は、その4年前のバルセロナ五輪での銀メダルのあと、国全体から「次は金」と期待されるも結果は銅という流れの中のもの。有森さんは「自分で納得できた」から出てきた言葉だと語っておられます。

何に努力するか、その結果がどんな場面で表れるかということは一歩ひとりがいますが、

してきたことに「自分で納得できる」ということは、おとなであっても小学生であっても同様に大事なことだと思います。そういう意味で学年末の子どもたちの表情を見て、たいへん嬉しくなりました。1年間で成長した子どもたちは、もう、「4月から〇年生だな」と来年度を楽しみにしています。来年度も、1人ひとりとしても、学級や学年としても納得できる1年になることを願っています。

## 本年度をふり返って

毎年、子どもたちと保護者の皆さまに学校教育アンケートを行っております。以前とちがってメールによるアンケート形式で実施していますが、保護者の皆さまからは、256通の回答をいただきました。その結果や、学校としても行っている学校評価を合わせて、本年度をふり返り、次年度に向けた検討をしています。本号では、その中の主だった項目を中心に、学校の考えをお伝えしたいと思います。

### 児童アンケートから

ほとんどの項目で昨年度よりも肯定的な回答が増えました。中でも「英語の学習は楽しい」「道徳の学習でいろいろな考えを聞くのが楽しみだ」「毎日自分から挨拶している」「学校の授業はわかりやすい」「自分の考えを話したり友だちの話を聞いたりして学習している」の肯定的回答率は、昨年度よりも3.9ポイントから8ポイント増えました。また、強い肯定的回答率について「自分の考えを話したり友だちの話を聞いたりして学習している」「道徳の学習でいろいろな考えを聞くのは楽しみだ」がともに8ポイント近く増えたこと、「学校は楽しい」「学校の授業はわかりやすい」「自分には良いところがある」も5ポイント近く増えたことをたいへん嬉しく思っています。

児童アンケート

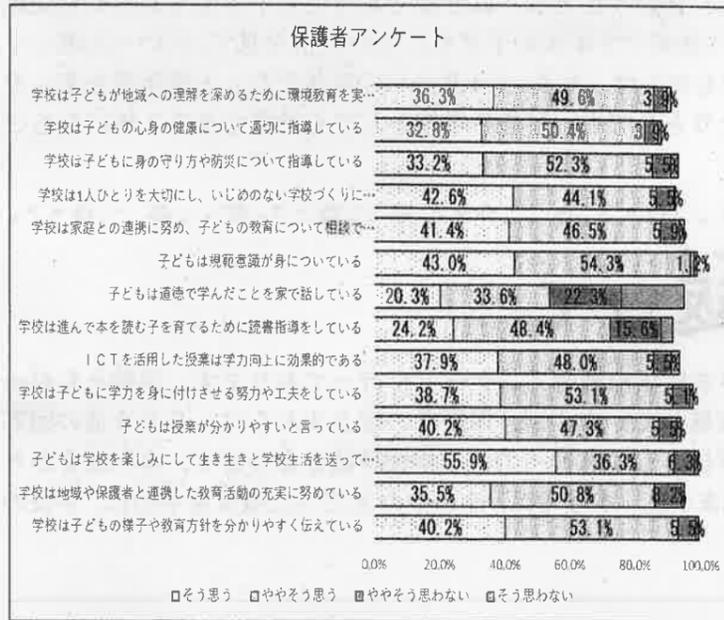
|                              |       |       |
|------------------------------|-------|-------|
| 学校での生活は楽しい                   | 70.7% | 24.5% |
| 学級の中に自分の気持ちをわかってくれる人がいる      | 67.2% | 23.4% |
| 相手の気持ちを考えながら行動している           | 58.9% | 35.1% |
| 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している       | 55.0% | 31.3% |
| 将来の夢や目標をもっている                | 64.3% | 18.0% |
| 英語の学習は楽しい(3~5年)              | 50.9% | 36.1% |
| 学校や学級の目標、安心ルールを大切にしている       | 62.4% | 32.6% |
| 道徳の学習でいろいろな考えを聞くのが楽しみだ       | 53.7% | 35.3% |
| 健康や安全に気をつけて生活している            | 69.7% | 25.7% |
| 体育や休み時間に運動することは好きだ           | 58.3% | 26.4% |
| 人が困っていたら、進んで助ける              | 61.0% | 34.4% |
| 係活動やそうじ、給食の仕事ががんばっている        | 78.4% | 18.5% |
| 毎日、自分からあいさつをしている             | 51.9% | 36.5% |
| 毎日、家で学習や宿題をしている              | 76.1% | 18.5% |
| 本をたくさん読むことができている             | 52.3% | 25.3% |
| 自分の考えを話したり友だちの話を聞いたりして学習している | 56.8% | 37.1% |
| 勉強がわかるまであきらめずに取り組める          | 55.2% | 36.3% |
| 電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい      | 67.0% | 24.3% |
| 学校の授業はわかりやすい                 | 63.1% | 31.3% |
| 先生は、あなたの良いところを認めてくれる         | 56.4% | 34.7% |
| 自分には良いところがある                 | 53.7% | 30.9% |
| 学級のみんなで協力して何かをやりとげ、嬉しかったこと   | 59.3% | 32.6% |
| 友だちと仲良く過ごしている                | 80.3% | 17.4% |

0% 20% 40% 60% 80% 100%

□ そう思う □ ややそう思う □ ややそう思わない □ そう思わない

校内の授業研究で対話的・協働的な学び合いを研究していることや、授業だけでなく、児童会や委員会が中心になって自分たちの生活を自分たちで自主的に良くする取組(特別活動)が活発になったこと、人権・共生の側面から安全・安心な学級にしていく取組も具体的にを行ったことの成果であると捉えています。

# 保護者アンケートから



お忙しい中、回答いただきありがとうございます。グラフがちょうど100%になっていないのは、「わからない」の選択肢を表示していないことによります。

児童アンケート同様に多くの項目で、昨年度より良い結果となりましたが、特に、強い肯定的回答について、「学校は1人ひとりを大切に、いじめのない学校づくりに努めている」「学校は家庭との連携に努め、子どもの教育について相談できる」「学校は子どもに身の守り方や防災に

ついて指導している」「学校は子どもの心身の健康について適切に指導している」「子どもは授業が分かりやすいと言っている」「子どもは道徳で学んだことを家で話している」が12~19ポイント良い結果でした。他にも10ポイント近く良い結果となったものがたくさんありました。

しかし、「学校は子どもの心身の健康について適切に指導している」「ICTを活用した授業は学力向上に効果的である」は、肯定的回答を合わせた結果は昨年を6~10ポイント下回りました。今年度は、初めてオンライン授業を実施した昨年度に比べてICTの活用を感じていただきに繋がったことが影響しているかもしれませんが、オンラインで教室と家庭をつなぐICT活用だけでなく、令和5年度は、1時間の授業において子どもの学びがより深くなるための有効な活用方法についての授業研究を学校全体で進めていく予定をしています。

自由記述欄にご意見等をお寄せいただいた数は42通でした。その中の12通については、教職員や学校に対してお褒めの言葉をいただく内容であり、恐縮しております。その他につきましては、ご希望やご提案をいただいたもの他、苦言をいただいたものもありました。いずれのご意見も、わたしたちとは違う目線で見えていただいているから気づいてくださっているものであり、たいへん貴重なものだと感じております。

コロナ禍により制限されていた教育活動や学校と保護者間のコミュニケーションについては、状況を鑑みながら充実を図るよう今後のあり方を出してまいります。ICTの活用については、授業中でのタブレットパソコンの有効な使い方の他、ホームページの有効活用等も工夫していきます。また、子どもたちの様子を見ていただく機会については、数日間の期間を設けて教科の授業だけでなく発表や生活の様子も参観いただける場を設定する予定です。

令和5年度も子どもを中心として保護者の皆さまのご協力もいただきながら学校として前進していきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



※4月から、毎朝の健康観察票(クリーム色)は集めません。春休み前の配布もしていませんので、お知りおきくださるようお願いいたします。



「白のさきま」を「緑」へ変じは緑は手!



（以下は非常に小さい文字で印刷された文章が繰り返されています。内容は主に学校の活動や保護者へのメッセージに関するものです。）